

## 国立公園の利用及び管理に関する調査

### <調査結果に基づく通知>

しみず まさひろ

総務省近畿管区行政評価局（局長：清水 正博）は、当局管内の3国立公園（吉野熊野、山陰海岸及び瀬戸内海国立公園）について、誰もが安全で利用しやすいものとなっているかとの観点から、現地の実情や関係機関の取組を調査しました。

この度、調査結果を取りまとめ、令和2年1月21日、環境省近畿地方環境事務所に対し、必要な改善措置を講ずるよう通知しましたので、その内容を公表します。

- 調査実施期間 令和元年5月～2年1月
- 調査対象機関 環境省近畿地方環境事務所
- 関連調査等対象機関 兵庫県、奈良県、和歌山県、  
3県内の6市町

※ 結果報告書は、近畿管区行政評価局のホームページに掲載しています。  
<http://www.soumu.go.jp/kanku/kinki.html>

#### 【照会先】

総務省 近畿管区行政評価局

評価監視部 第4評価監視官（津江）

電話：06-6941-8906 E-mail：knk22@soumu.go.jp

# 国立公園の利用及び管理に関する調査の結果に基づく通知(概要)

## 背景等

- 平成25年6月、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」(観光立国推進閣僚会議)により、国は、国立公園を含む自然公園等について、外国人目線に立った多言語対応の改善・強化を図る方針
- 環境省においても、全国の国立公園の訪日外国人利用者数を2015年の490万人から2020年には1,000万人に増やすことを目標とし、訪日外国人・障害者・高齢者等の誰もが利用しやすい国立公園とすることを目指し、公園施設のユニバーサルデザイン化を推進する方針
- 近畿地方では、大阪・関西万博(2025年)の開催が予定され国内外からの観光客の増加が見込まれる中、当局管内の3国立公園(吉野熊野、山陰海岸及び瀬戸内海国立公園)においても、各種の取組を着実に実施することが必要
- 今般、当局では3国立公園内の代表的な利用ルート(総延長約80km)とルート上の利用拠点において現地の実情を調査

## 主な調査の視点

公共標識は外国人利用者のためにどの程度多言語対応されているか

公共標識は分かりやすいものとなっているか

誰もが安全で快適に利用しやすいように施設が維持管理されているか

## 主な調査結果

- ・ 危険周知等のための公共標識について多言語対応されたものは約半数
- ・ 公共標識、観光案内パンフレットに記載される地名、名称の英語表記が不統一

- ・ 老朽化し情報が読み取れない上、景観を阻害している公共標識あり

- ・ 破損したままの転落防止柵や通行を阻害している倒木あり

## 主な通知の内容

- ・ 優先順位を検討した上での計画的な多言語対応
- ・ 表記の統一性の確保

- ・ 必要性・有用性を検討した上での再整備や撤去

- ・ 不備があるものの速やかな是正

地方公共団体が設置する公共標識、公園施設については、地域における連絡協議会等を活用した関係機関への助言

# 1 利用者への情報提供

## (1) 外国人利用者のための情報提供（多言語対応）

### 調査結果

結果報告書p2～8、22～73

- 危険周知等のための公共標識、利便性の確保や自然・歴史的背景等の理解を深めるための公共標識について、多言語対応されているものは約半数（637基のうち301基） [参考①]

- 公共標識、観光案内パンフレットに記載される地名・名称の英語表記が不統一（169の地名・名称のうち62） [参考②]

### 改善意見(所見)

#### 【環境省設置の公共標識】

- 優先順位を検討し、計画的に多言語対応を推進、特に危険周知・安全確保のための標識は速やかに対応

#### 【環境省以外が設置した公共標識】

- 多言語対応が地域単位で統一的、計画的に推進されるよう助言

- 地域における連絡協議会等を活用した取組について助言

## (2) 利便性向上・安全確保等のための情報提供

### 調査結果

結果報告書p9～13、74～104

- 公共標識が老朽化し情報が読み取れないものなどあり（46事例） [参考③]
  - ・ 老朽化し情報が読み取れない上、国立公園の景観を阻害していると考えられるもの
  - ・ 必要な場所に設置されていないなどにより、利用者の誘導に支障があるもの
  - ・ 掲載情報が古いため利用者の誤解を招くおそれがあるもの など

### 改善意見(所見)

#### 【環境省設置の公共標識】

- 状況を把握し、不備があるものについて是正

#### 【環境省以外が設置した公共標識】

- 不備があるものについて是正されるよう関係機関に助言

## 2 公園施設へのユニバーサルデザインの導入状況と維持管理

### (1) ユニバーサルデザインの導入状況

#### 調査結果

結果報告書p14～16、105～117

#### ○ 公園施設のユニバーサルデザイン化に関し、不十分な状況

(22事例) [参考④]

- ・ 公衆トイレまでのアクセスに支障があるものや、ピクトグラム等の表示が適切でないもの
- ・ 障害者用駐車場から施設への移動経路が円滑でないもの
- ・ ユニバーサルデザイン対応設備に関するウェブサイトによる情報提供が不十分なもの など

#### 改善意見(所見)

【環境省設置の公園施設】

- ユニバーサルデザイン化への適合状況を改めて点検し、不適合箇所がみられた場合には、速やかに改善

【地方公共団体が設置した公園施設】

- ユニバーサルデザイン化への適合について協力を求めること

### (2) 公園施設の維持管理

#### 調査結果

結果報告書p17～21、118～148

#### ○ 公園施設の維持管理に関し、安全性に問題のあるもの、景観を阻害していると考えられるもの、使用に際して支障のあるものあり (24事例) [参考⑤～⑦]

- ・ 安全性に問題のあるもの  
立入防止柵・転落防止柵が破損したまま放置、倒木により通行に支障
- ・ 景観を阻害していると考えられるもの  
台風で損壊したローラー滑り台、損壊した展望台
- ・ 使用に際して支障のあるもの  
長期間にわたって修理されていないトイレの洗面台 など

#### 改善意見(所見)

【環境省設置の公園施設】

- 状況を把握し、不備があるものについて是正、特に安全性に問題のあるものや通行に支障が生じているものについては、優先的に措置

【地方公共団体が設置した公園施設】

- 維持管理の手法を改めて周知するなど維持管理が適切に行われるよう助言



① 危険周知等のための公共標識

英語併記されていない例



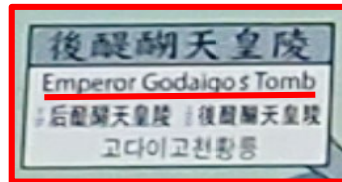
(吉野熊野国立公園)

英語とピクトグラムが併記されている例

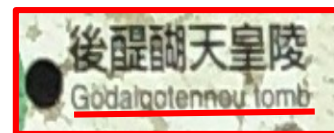


(吉野熊野国立公園)

② 「後醍醐天皇陵」の例では異なる4種の英語表記



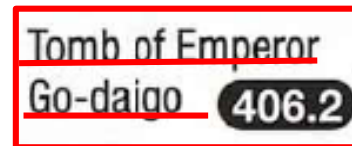
現地の公共標識



現地の公共標識



観光案内パンフレット



観光案内パンフレット

(吉野熊野国立公園)

③ 老朽化して情報が読み取れない上、景観を阻害していると考えられる公共標識



(吉野熊野国立公園)



(吉野熊野国立公園)

④ ウェブサイト上の案内と現地の状況が異なる例

<ウェブサイト上の案内>

オストメイト対応設備

ユニバーサルデザイン対応状況



多言語対応パンフレットの配布



多目的トイレ



コミュニケーション支援ボード

<現地の状況>

オストメイト  
対応設備はない



(山陰海岸国立公園)



### ⑤ 危険な状態で放置されている公園施設の例



(吉野熊野国立公園)



(山陰海岸国立公園)

※ 当局の指摘を受け、いずれも応急措置や改修工事を実施済み

### ⑥ 倒木により通行に支障のある例



(吉野熊野国立公園)



(吉野熊野国立公園)

### ⑦ 損壊したまま景観を阻害していると考えられる施設の例



(吉野熊野国立公園)

大規模遊具（ローラースライダー：全長約133m）が、台風で損壊した後利用されず、雑草が繁茂するなど景観を阻害していると考えられる。